

## <基本情報>

★組合員に安全・安心な農産物を提供することを目的に、福井県民生協が平成28(2016)年1月に設立

本店所在地：福井県あわら市

農場所在地：あわら市、敦賀市

## <栽培面積>

水稲 20ha

露地野菜 8ha

(うちキャベツ 5ha)

みかん 1.2ha

[令和元年実績]



## <GAPの認証取得に向けた取組>

・社員全員で、生産工程や圃場ごとにどんなリスクがあるのか意見を出し合うことからスタート

→リスクについて対応策を考え、基準書や手順書を整備。また、リスク評価に基づき、土壌分析や水質検査、残留農薬検査を実施。

・「アグリノート」(航空写真マップ上で圃場を管理し、農作業の記録をデータとして保存・活用できる営農支援システム)を活用し、毎日の作業記録をスマートフォンやタブレットを使って圃場でできるようにした。

→圃場ごとの作業記録も簡単に取りまとめ可能。

## <GAP認証取得のきっかけ>

設立時、農場長以外は全員素人。

→GLOBALG.A.P.の仕組みに則って農業体系を作ろう!という考えから、

平成29(2017)年11月 GLOBALG.A.P.認証取得



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ◆イメージ・知名度の向上

- ・安全・安心な農産物の提供について、生協組合員の理解が浸透。
- ・視察の受入や福井農林高校(平成30年にASIAGAP取得)への指導を実施。
- ・関東・関西地方の小売店や飲食店から取引の要請あり。

### ◆従業員の意識の向上

- ・農薬や肥料に関する知識を深めるための自主的な取組の開始。

